

# 第3回 経済社会情勢の変化に対応した キャリアコンサルティングの実現に関する研究会資料

2025年4月17日

一般財団法人ACCN  
理事 山口 満

# 目次

## 1. 団体のご紹介 (P4-6)

- ・ACCNの目的・設立経緯
- ・組織概要
- ・事業区分

## 2. 実践活動ができるCCを考える (P8-10)

- ・会員アンケートから
- ・実践機会の運営から
- ・実践活動ができるCCになるためには

## 3. 自律的実践活動への支援 (P12-21)

- 【サポート/市場づくり】
- ・支部活動
- ・テーブル活動
- ・実践型訓練開発事業 (ACCNインターンシップ)
- ・仕事・ボランティア情報

## 4. 自律的実践活動への支援 (P23-24)

- 【品質保証/社会への働きかけ】
- ・「ACCNWAY」
- ・「キャリアマンス」

## 5. 終わりに (P26)

経済社会情勢の変化に呼応した活動に向けて



ACCNサイト

ACCNの活動について



## 1. 団体のご紹介

- ・ACCNの目的・設立経緯
- ・組織概要
- ・事業区分

## 2. 実践活動ができるCCを考える

- ・会員アンケートから
- ・実践機会の運営から
- ・実践活動ができるCCになるためには

## 3. 自律的実践活動への支援

【サポート/市場づくり】

- ・支部活動
- ・テーブル活動
- ・実践型訓練開発事業（ACCNインターンシップ）
- ・仕事・ボランティア情報

## 4. 自律的実践活動への支援

【品質保証/社会への働きかけ】

- ・「ACCNWAY」
- ・「キャリアマンス」

## 5. 終わりに

経済社会情勢の変化に呼応した活動に向けて



## 団体の目的 /設立経緯

### ○設立経緯

2016年 キャリアコンサルタント登録制度の創設

- ・キャリアコンサルティング経験が全くない人も国家資格保有者に。
- ・養成と試験が分離され、養成講習修了者には所属先がない人も。
- ・国もキャリアコンサルタントの団体設立を要望。

2017年 ・技能士会を発展的に解散し、新たに設立する職能団体に統合することに。  
・キャリアコンサルティング協議会にACCN設立準備室を設置。

2018年 協議会が設立者となり、10月に一般財団法人ACCN設立

### ○団体の目的

定款において、「当法人は、キャリアコンサルタントの品位と資質を高め、実践の場を拡大することによってキャリアコンサルタントの社会的価値をより確かなものとし、人々が学びあう社会の実現に寄与することを目的とする」と定義し、定義を端的に表現するものとして、**次のキーコンセプトを採択**

**みんなの「生きる」をキャリアでつなぐ。ACCN**



# 組織概要

## ●役員（2025年3月時点）

### 評議員

花田 光世 （慶応大学名誉教授）  
 小原 新 （一般社団法人日本産業カウンセラー協会前会長）  
 藤田 真也 （特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会会長）

理事長 今野 浩一郎 （学習院大学名誉教授）  
 理事 植木 千秋 （株式会社日本マンパワー 専門部長）  
 檀上 道子 （株式会社パソナ エキスパートHR本部）  
 中山 啓介 （旧キャリアコンサルティング技能士会代表）  
 山口 満 （特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会 前常務理事・事務局長）  
 吉田 優子 （特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会 前事務局長）  
 監事 伊良波 久美 （株式会社テクノファ）  
 事務局 事務局長 山本 達夫 事務局 中林 千恵子/佐藤 洋美

## ●会員数

個人会員 5,857名  
 法人会員 42団体（主にキャリアコンサルティング関連団体）

## ●支部（9支部）

北海道 / 東北 / 北関東 / 東京 / 神奈川 / 中部 / 関西 / 中国・四国 / 九州・沖縄

# ACCNの 事業区分

ACCNの活動の理念として

- ・会員の「働く」のためのプラットフォームとして活動すること
- ・会員の自律的活動を促進・支援すること
- ・支部活動を含めて統一の取れた活動をする

事業区分	主な事業内容
<b>1.サポート事業</b> (会員が安心してCC活動に取り組める環境を整備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支部活動 交流、学習の機会</li> <li>○テーブル活動 会員の自主的な学習・情報交換の機会</li> <li>○キャリアコンサルタント損害賠償保険の加入 会員全員加入(会費で充当)</li> </ul>
<b>2.品質保証事業</b> (会員の「仕事」として提供するCCサービスの品質の保証と向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)会員の実践力の維持・向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>○実践型訓練開発委員会 CCの成長スキームの検討、ベテランCCと経験の少ないCCが共に成長するモデルの構築</li> </ul> </li> <li>(2)会員の品位の維持・向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>○倫理委員会 キャリアコンサルタントとして基盤となる心得として ACCN_Way1.0を制定。普及活動 ※ACCN_Way1.0サイト <a href="https://way-betaversion.kirara.st/">https://way-betaversion.kirara.st/</a></li> </ul> </li> <li>(3)CCに関する技術・方法の開発・普及 他団体の更新講習情報等の配信</li> </ul>
<b>3.市場づくり事業</b> (会員がCCとして「働く」市場(「実践の場」)の開発と提供)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実践型訓練開発事業 CCの成長を目的に、実践の現場を経験し、自らのCCとしての在り方を考える機会の提供 ※これまでに8件実施</li> <li>○仕事・ボランティア情報の配信</li> </ul>
<b>4.社会への働きかけ・発信事業</b> (活動母体や活動意義を社会に認識してもらうための働きかけ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアマンズの主催 「働くと生きる」をテーマにしたイベントの紹介、まとめイベント(厚生労働省後援)やWebマガジン雑誌のキャリアイベントへの協力</li> </ul>
<b>5.基盤事業</b> (基盤となる会員向けサービス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会員への情報提供 会員限定動画の配信、定期的なキャリア情報の配信、会員活動の促進</li> </ul>

## 1. 団体のご紹介

- ・ACCNの目的・設立経緯
- ・組織概要
- ・事業区分

## 2. 実践活動ができるCCを考える

- ・会員アンケートから
- ・実践機会の運営から
- ・実践活動ができるCCになるためには

## 3. 自律的実践活動への支援

【サポート/市場づくり】

- ・支部活動
- ・テーブル活動
- ・実践型訓練開発事業（ACCNインターンシップ）
- ・仕事・ボランティア情報

## 4. 自律的実践活動への支援

【品質保証/社会への働きかけ】

- ・「ACCNWAY」
- ・「キャリアマンス」

## 5. 終わりに

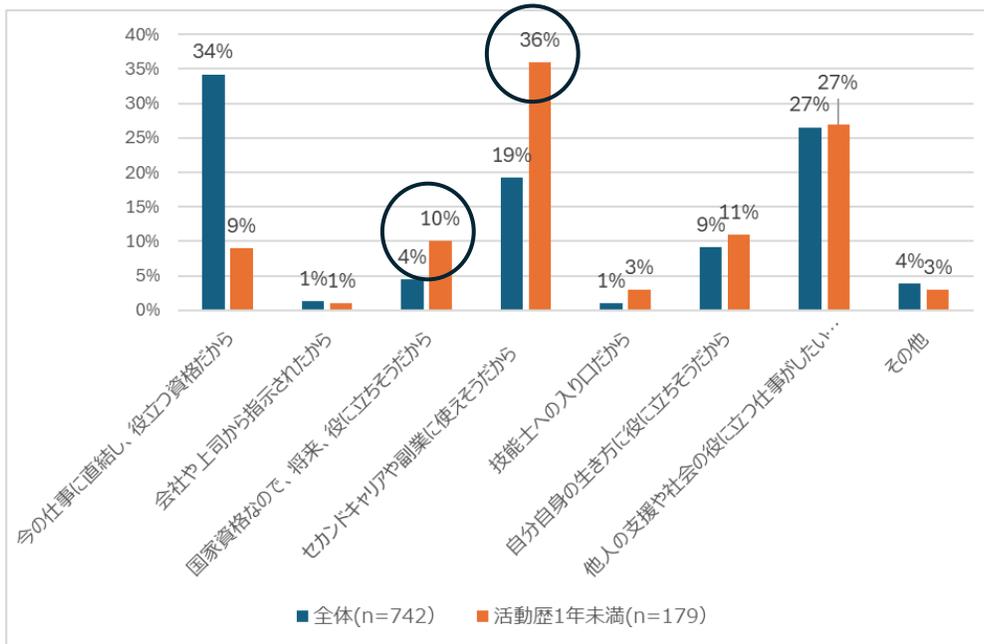
経済社会情勢の変化に呼応した活動に向けて



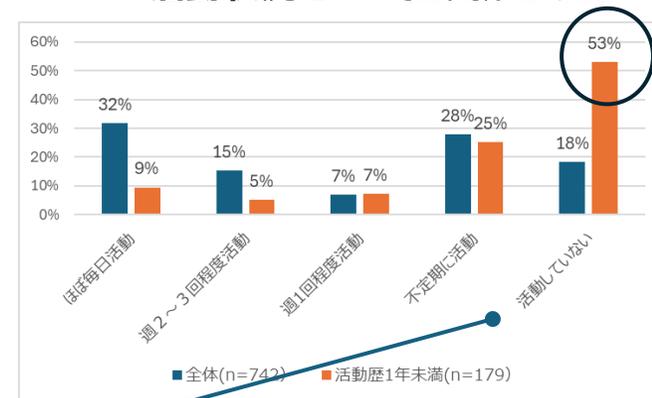
実践活動  
ができるCC  
を考える  
会員アンケートから

## 活動歴1年未満のCCに 聞きました

問1：国家資格キャリアコンサルタントの  
資格を取得された目的・理由は何か？



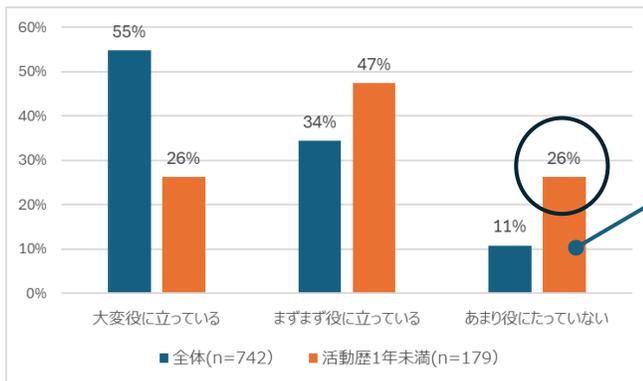
問2：キャリアコンサルティングに関連する  
活動状況についてお聞かせください



●キャリアコンサルティングに関連する活動を行っていない主な理由 (n=95)

理由	回答数	割合
キャリアコンサルティングとは関係のない組織、部署等に所属している	47	35%
周囲にキャリアコンサルティングの仕事（ニーズ）がない	18	13%
所属する組織（企業等）がキャリアコンサルティングに熱心ではない	6	4%
他の仕事などで忙しく、自分自身に時間的余裕がない	11	8%
自分自身の専門的スキル・知識に自信がない	3	2%
キャリアコンサルティングに関する仕事をしたくない、興味なくなった	0	0%
活動に対するキャリアコンサルティングの報酬が見合わない	1	1%
その他	9	7%
	95	100%

問3：キャリアコンサルタントの資格はあなたの  
生活や仕事で役に立っていると感じますか？



CC資格が役に立っていない主な理由5  
(自由記載を分類)

1. 仕事がない
2. 経験が無いので仕事につけない
3. 所属企業にCCを活かす組織がない
4. 別の資格での仕事を中心だから
5. どうやって役立てていいかわからない

\* CC資格が今の仕事に直結して  
おらず、これから活かそうと  
いう層には、**実務経験、機会  
の作り方、スキルの活かし方、  
等で壁を感じているか**

ACCN会員アンケート2024から  
活動歴1年未満を対象にデータを抽出

「ACCN会員アンケート2024」  
実施期間：  
2024年12月25日～2025年1月20日  
回答数：742  
(対象会員数5,600名 回答率13%)



# 実践活動 ができるCC を考える

実践機会の運営  
から

## ■ ACCNがこれまでの実践機会の運営等から感じていること

### (1) キャリアコンサルタントの能力の現状と不足していると思われる点

#### ① キャリアコンサルタントとしてのアイデンティティへの意識・自覚不足

ACCNインターンシップ（P19～）への応募動機の89%に「現場がない」「自分が何をできるかはっきりしたい」という記載があった。また、「どんなキャリアコンサルタントになりたいか」を考えるワークを実施したところ、参加者の80%以上が「書けない」「わからない」と回答し、自分がキャリアコンサルタントとして社会にとってどのような存在でいたいのか等、基本的なマインドセットがない傾向を感じた。この状況では社会に対してキャリアコンサルタントの価値を伝えられないと考える。

#### ② キャリアコンサルタントとしての能力の可視化・検証不足

既に企業内キャリアコンサルタントとして研修企画など活動している会員がACCNインターンシップに参加した感想で「思っていたよりも深い理解が必要で、自分の能力の足りなさを知った」というアンケートが返ってきている。キャリアコンサルタント自身に自己理解や仕事理解が不足していると表面的な支援になってしまうと思われるので、実際に活動している人も定期的に自身のCCとしての能力を可視化し、支援のために必要な能力を総合的に取り込んでいく機会が必要であると考えます。  
(SV、外部CCの助言、企業間交流の機会など)

例えば、以下のような能力が実際の支援には必要では、と感じている

#### ▼キャリアコンサルティング面談全体的に関して

- ①面談スキル
  - ・クライアントの状況を理解しつつクライアントを受け入れる姿勢
  - ・クライアントが自分と向き合うことに伴走する視点
  - ・クライアントの気づきを受け取り、可視化する能力
- ②自分の能力を研鑽する意識を持つこと
- ③社会情勢や企業のトレンドを把握すること

#### ▼企業領域全般に関して

- ①企業を理解する能力（企業ごとの特徴、状況、企業のニーズの把握）
- ②社会情勢に関する情報、知識（社会的に企業が求められていることを把握）
- ③担当者と経営者両方の視点（社員、担当者、経営者の橋渡し役になる）
- ④CL個人の意見から社内の課題を推測する能力
- ⑤ニーズにあった柔軟な表現や提案ができる知識と能力
- ⑥企業的な感覚がありつつ、自分のバイアスに取り込まれない能力

# 実践活動 ができるCC を考える

～なるためには～

ACCNが考える  
CCが自律的に実践活動ができるようになるために  
最低限必要と思われる要素

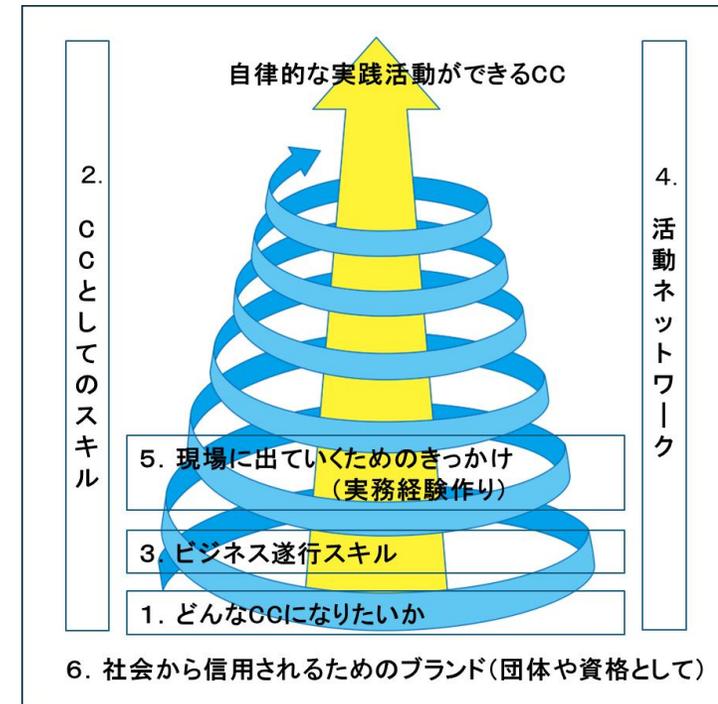
1. CCとしての活動イメージ（どんなCCになりたいか）
2. CCとしてのスキル
3. 企画力、提案力、実行力といったビジネス遂行スキル
4. 情報収集やチーム対応に生きるネットワーク
5. 現場に出ていくためのきっかけ（実務経験作り）
6. 社会から信用されるためのブランド  
（個人だけでなく団体や資格としても）



## 上記要素に対応するACCNが実施している支援策

1. 支部活動・テーブル活動  
（ロールモデルとの出会い/活動事例の学び）
2. 各法人会員団体からの学習情報の提供（→各団体の研修へ）
3. 支部活動・テーブル活動
4. 支部活動・テーブル活動
5. 実践型訓練（ACCNインターンシップ）/仕事・ボランティア情報
6. 「ACCN\_Way 1.0」、キャリアマンス、SV

自律的な実践活動ができるCCになるまでのイメージ



## 1. 団体のご紹介

- ・ACCNの目的・設立経緯
- ・組織概要
- ・事業区分

## 2. 実践活動ができるCCを考える

- ・会員アンケートから
- ・実践機会の運営から
- ・実践活動ができるCCになるためには

## 3. 自律的実践活動への支援

【サポート/市場づくり】

- ・支部活動
- ・テーブル活動
- ・実践型訓練開発事業（ACCNインターンシップ）
- ・仕事・ボランティア情報

## 4. 自律的実践活動への支援

【品質保証/社会への働きかけ】

- ・「ACCNWAY」
- ・「キャリアマンス」

## 5. 終わりに

経済社会情勢の変化に呼応した活動に向けて

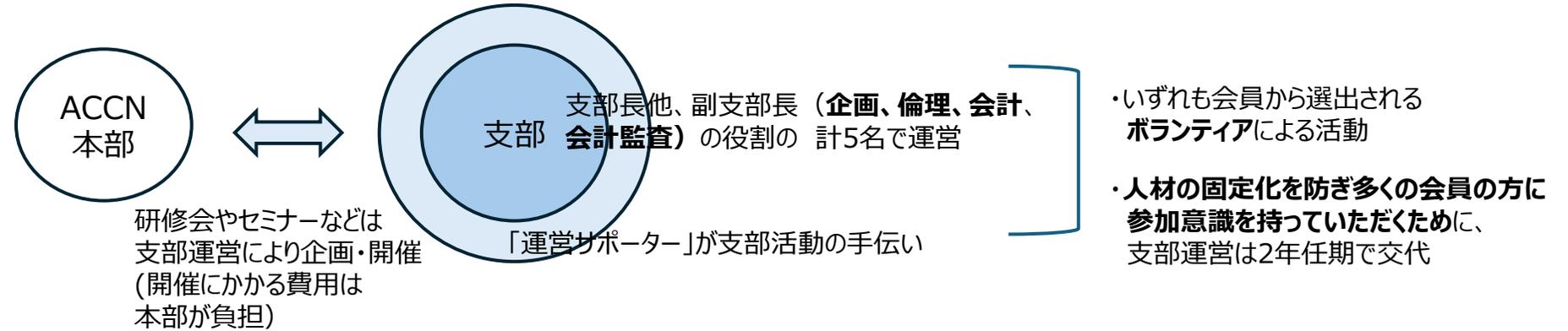


# 自律的 実践活動 への支援

## ■ 目的・概要

- 「支部活動」の目的  
ACCNとしての目的を達成するため、**地域の特徴を活かし会員相互の連携**を深め、キャリアコンサルタントの品位と資質を高め**実践の場の拡大に寄与**する
- 「支部活動」の概要  
・北海道 / 東北 / 北関東 / 東京 / 神奈川 / 中部 / 関西 / 中国・四国 / 九州・沖縄の**9支部**  
(事務所等の実態はなく、形の上での組織)

## 【サポート/市場づくり】 支部活動 その1



- \* 2024年度は支部全体で47件のイベントがオンラインや対面で開催されている
- \* イベントの内容は、CCの活動のために総合的に必要と思われる様々な視点から企画されており、大きく分けると**スキル向上のための研修会、実務に役立つ学びや情報収集のための勉強会、ネットワーク構築や新規会員の活動促進のための交流会**といったタイプに分けられる
- \* 運営では、苦勞している支部がある一方、工夫をこらしてメンバーそれぞれの強みを活かした活動を行っている支部もあり、**CCとしてのチームマネジメントスキルが磨かれる場**であるということも推量される

# 自律的 実践活動 への支援

## ■ 支部活動の一例

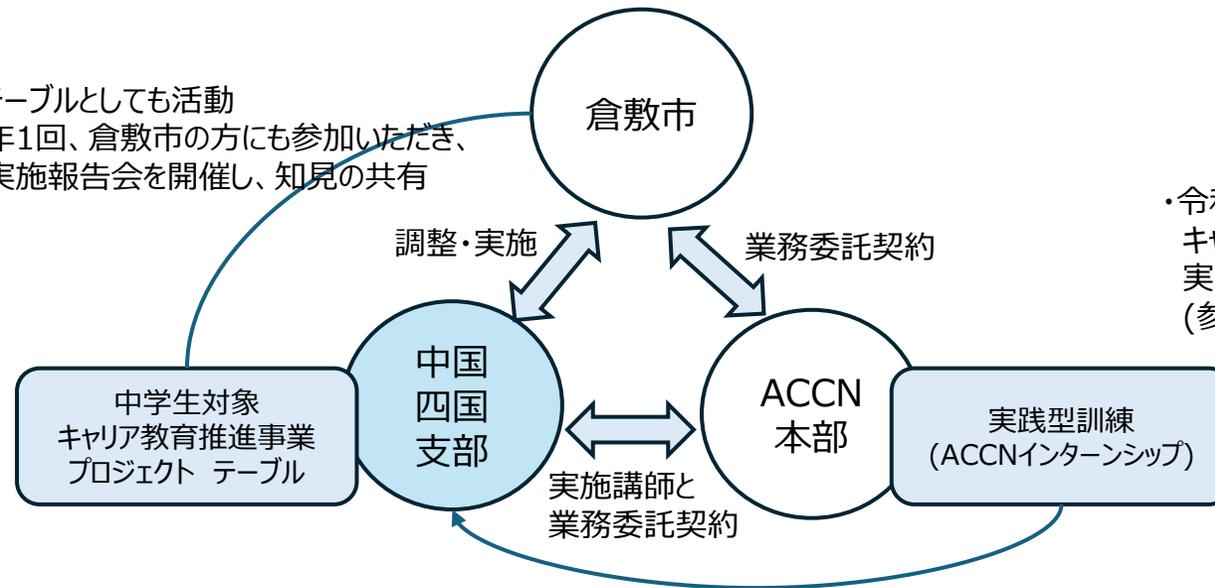
### 「倉敷市立中学校キャリア教育推進事業活動」プロジェクト

#### 【概要】

倉敷市では、若者の職業観の育成や将来の地元就職の促進、地域の活性化を目的にキャリア教育推進事業として中学生・高校生を対象に下記の講座をセットで実施しており、そのうちの「基礎講座」をACCN中国四国支部と地元社労士会で2020年から担当実施している（初年度4校で実施→令和6年度9校で実施 令和7年度は実施地域を倉敷市+7市3町に拡大予定）

- 職場体験学習（チャレンジワーク）前後の「**基礎講座（マナー講座とキャリアデザイン講座）**」・・・ACCNと社労士会で担当
- 生徒が地元企業やさまざまな職業を知り体験できる「**企業学び楽舎（がくしゃ）講座**」（職場体験学習/令和5年度は1,000を超える事業所が協力）

- ・テーブルとしても活動  
年1回、倉敷市の方にも参加いただき、実施報告会を開催し、知見の共有



- ・令和6年度からインターンシップ実施  
キャリア教育に関心のある会員に  
実際の授業の様子を現地で見学してもらっている  
(参加したインターン生は報告会にて活動報告)

\*中国四国支部が運営を行っている「倉敷市におけるキャリア教育推進事業」は今年で5年目を迎えるが、支部メンバーからの本部への相談が発端となり市との連携が始まった。その後、支部運営のテーブルとして会員と活動の状況を共有しながら活動を続け、昨年からは実践型訓練（ACCNインターンシップ）の仕組みも取り入れ、後進育成の機会にもなっている。



本事業の活動  
報告について

# 自律的 実践活動 への支援

## ■ 目的・概要

- テーブル活動の趣旨  
「テーブル」は、**キャリアに関する社会のテーマに向き合い働きかける**ためのACCN会員による**自主的かつ非営利なグループ活動**
- テーブル活動の目的  
「テーブル」は以下の活動を通じて、個人の豊かな学びや行動の変容、活動の場の広がりを目指すとともに、当法人の目的の遂行に寄与する
  - ・対人支援やキャリア形成支援における現場の課題や環境に対してキャリアコンサルタントの**グループ（チーム）として働きかけ**、その取り組みを通じて**課題の解決や学びあい**を行う
  - ・学んだことを**ACCN会員や社会と共有**するために、ACCNのサイトや「キャリアマンス」（P24）のようなイベントにて**発信や報告・提言**を行う
- テーブル活動 概要
  - ・自分が関心のあるキャリアに関連するテーマへの取り組み（テーマは自由）
  - ・3人集まれば活動開始（メンバーは会員でなくても可。個人単位が基本だが、支部単位での活動も可能）
  - ・活動報告を会員で共有、外部に発信
  - ・キャリアコンサルティング関連、メンタルヘルス、企業領域、教育領域、外国人、高齢者、若者、障がい者といった領域別支援、といった多様なテーマで現在、25のテーブルが活動中
  - ・活動の共有、発信、は会員ページ、サイト、イベント（「テーブルフェス」）等で実施

## 【サポート/市場づくり】 テーブル活動 その1

# 自律的 実践活動 への支援

## ■テーブルテーマ一覧（活動中のみ）

No	テーブル名（活動テーマ）
1	チームIchiban「企業におけるキャリアコンサルタントを定義し、キャリアコンサルティングの導入を段階的にアプローチする方策を検討すること」
2	高度外国人材キャリア支援（注：高度外国人材候補者である大学院留学生、ポスドク研究者等への支援を含む）
3	公共機関（ハローワーク、若者・女性・高齢者支援等）は就労支援の最前線―事例から学ぶキャリアコンサルタントの役割―
4	「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」概念の広報・発信について
5	就労困難者の自立のために(受け入れ企業へのキャリアコンサルタントとしての支援活動)
6	精神障害者就労における、キャリアコンサルタントと企業側双方の視点から取り組む就労先定着支援について
9	人生100年時代をいまいきと働き続けるために ～シニア世代社員本人と取り巻く人たちへの活動支援～
11	SDGs×キャリアコンサルタント
14	キャリアコンサルタントの視点で考える障害者雇用支援
16	キャリアコンサルタントに必要な能力、知識、スキル等とは ～カウンセリング現場の声から～
17	自殺対策委員会
18	外部講師としての授業設計と私たちのリカレント教育を目指して ～make career education count～
22	中学生対象キャリア教育推進事業プロジェクト
23	キャリアコンサルティングスキルを活かした企業研修についての研究
25	CCいろはラボ キャリコンの初めの一步 ～現場で活かせる能力開発～
26	シングルセッション・キャリアコンサルティングの効果と変化への有効性
27	【まちのキャリコンさん】活動推進Project
29	企業内キャリアコンサルティングを人材開発と組織開発の要とする
31	がん治療者の就労支援とキャリアコンサルタントの関わりを考える
32	若手キャリアコンサルタント（20～30代）の課題や今後の活躍フィールドについて
33	カードゲームを使ったキャリアコンサルティングの検討
34	推し事とお仕事と生きることについて、cc視点で語り合う
35	共働き子育て世帯のキャリアデザインカフェ
36	マネジメント・リーダー層へのキャリアコンサルティングについて
37	スーパービジョン（SV）を気軽に受けたいと思えるものにするための検討会

\* 番号飛びは活動を終了

## 【サポート/市場づくり】 テーブル活動 その2

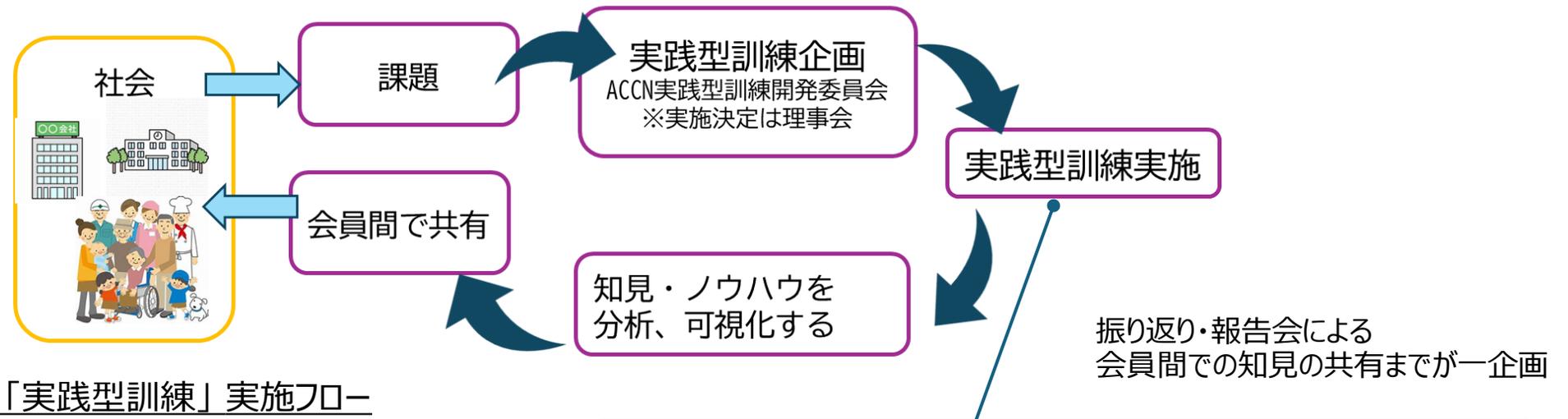


# 自律的 実践活動 への支援

## ■ 目的・概要

- ・ 職能団体として、キャリアコンサルタントが活躍するための市場開発につながる**実践型訓練（ACCNインターンシップ）**を目的として実施
- ・ 「**実践型訓練**」とは、会員のキャリアコンサルタント（実践経験の多寡を問わず）に**キャリアコンサルティングの活動を通して必要な技量を習熟させる実践的な教育活動**のこと
- ・ ACCNでは、この実践的な教育活動から得られた知見を蓄積し、**会員間で共有することによって、会員の実践力向上とキャリアコンサルティングの社会への普及推進**に貢献する

これまでの案件受託の仕組みを「会員の**実践機会・学びを増やす**」視点からモデル化し、2023年度より実施（インターンシップへの参加は**無料・無報酬**）



## ■ 「実践型訓練」実施フロー

ご協力依頼先の課題  
把握・企画打合せ

協力CC・  
参加CC募集

事前学習・  
トレーニング

実践型訓練  
実施

振り返り・  
報告会実施

# 自律的 実践活動 への支援

## ■ 実践型訓練開発事業 これまでの実績

協力企業・団体	受託事業	インターンシップ (IS) 内容		応募人数	参加人数
大手通信会社	社内カウンセラーに対するキャリア支援セミナーの実施	同席ならびにグループワークサポート	IS		11
大手アパレル会社	個別面談の実施	面談への対応	IS	142	27
外資系自動車システム会社	年代別キャリアワークショップの実施	ワークショップにおけるグループワークサポート	IS	44	26
八王子市	高齢者社会活動推進事業の個別面談の実施	面談への同席	IS	25	3
			報告会	101	87
大手電機メーカー	支社におけるキャリア研修の実施	キャリア研修の見学 事前打ち合わせへの参加	IS	71	5
			報告会	280	182
倉敷市商工労働部	中学校におけるキャリア教育出前授業	授業の見学	IS	15	14
倉敷市立中学校		(キャリア教育推進事業)			
			報告会	49	19
大手アパレル会社	個別面談の実施	面談への対応	IS	35	18
大手出版社	読者を対象にしたキャリアイベントの実施	イベントにおけるグループディスカッションの同席・サポート	IS	86	10
WEBマガジン					
			報告会	173	164
			IS	418	114
			報告会	603	452
			合計	1,021	566

\* IS (インターンシップの略)

\* 初期の頃はトライアルでISのみの実施から開始

\* インターンシップの形態は、個別面談の実施や同席だけでなく、キャリア関連イベントのサブファシリテータ、社内キャリア研修への参加や見学と、依頼の内容によって依頼先と協議しながら企画している

## 【サポート/市場づくり】 実践型訓練開発事業 ACCNインターンシップ その2

# 自律的 実践活動 への支援

## ■実践型訓練開発事業 実施スケジュール例（企画：個別面談対応）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
30歳対象 〇〇〇名		下旬面談日程の 調整開始		CWS (キャリアアワーショップ)	個別面談	個別面談		
40歳対象 〇〇〇名		下旬面談日程の 調整開始		CWS	個別面談	個別面談		
報告会 ※30歳40歳総合								報告会

↑企業側のスケジュール ↓ACCN側のスケジュール

新規IS 募集→決定	○日 説明会	参加者決定 ※面談日程提出						
新規IS勉強会			勉強会① 勉強会②	特別勉強会			勉強会③	
前IS 募集&勉強会	○日以降 説明会	○までに決定 ○に打ち合わせ ※面談日程提出	自主勉強会				勉強会③	
面談の実施					個別面談 対応			
スーパービジョン						実施		
全体振り返り								全体振り返り

\*この案件では勉強会はベテランの指導役CC3名にて実施。企画の規模や内容によって指導役CCの数は異なる。  
指導役CCは、企画内容によってこれまで委託案件で協働してきたCCや支部運営のCCの方々に依頼しており、  
勉強会が会員CCにとってのメンターとの出会いの機会としても機能している

\*「前IS」は前年度のIS参加者のことで、希望者には継続して面談に参加いただくことで実務経験の積み上げも可能としている

\*この案件の場合は、IS終了後に自身の面談をもとにケース記録を作成し、スーパービジョン（有料）を受けてもらうことも実施している

# 自律的 実践活動 への支援

## 【サポート/市場づくり】 実践型訓練開発事業 ACCNインターンシップ その4

### ■ インターンシップ参加者の感想（一部）

#### ▼ 参加することでCCとして学びたいと思っていたこと

##### ● 企画：個別面談の実施

実践を通して60分の面談をインフォームドコンセント～クロージングまで経験できること

X社のセルフキャリアドックを通して社内で行き届くことや活かせることがあるかもという期待

##### ● 企画：一般向けキャリアイベントでのグループファシリサポート

ファシリテーターの現場に立ち会うことで、対応方法を知りたい

セミナーからキャリア理論の復習ができるかもしれない。

##### ● 企画：中学校キャリア教育授業の見学

キャリアコンサルタントの活動の場として、現場を体感することで、リアルを感じ自らの適性との合致度を確認したい。

実際の現場でCCのどのような能力が求められているのか知りたい

### ▼ 参加した結果

実践を通して面談を経験することができたことや面談記録の記入など一連の流れとSVを経験でき、面談を客観的に捉えられることができたことで自身の面談の課題もみえた

年代別でのキャリア研修の取り組みは参考にできればと考えている

個別面談とグループディスカッションでの、話の深掘りの仕方が違うことを学びました。無闇に内省を促すのではなく、他の参加者にも共有できる方向へ話を深める意識が重要だと知りました。

理論の復習だけでなく、キャリア論を知らない人たちがどう受け止め、自分事として考えるか、という反応を目の当たりにすることができました。

クライアントのニーズ在りきが現実でありキャリア相談というよりもマナーが中心の研修だった。リアルな現場を体験することはとても重要だと痛感した。

話し方、内容、スピード、時間配分、事前準備や調整能力、突発の出来事への対応など応変さも求められていた。求められるスキルの程度が見て取れ、経験ができたことは大きいと感じた。

# 自律的 実践活動 への支援

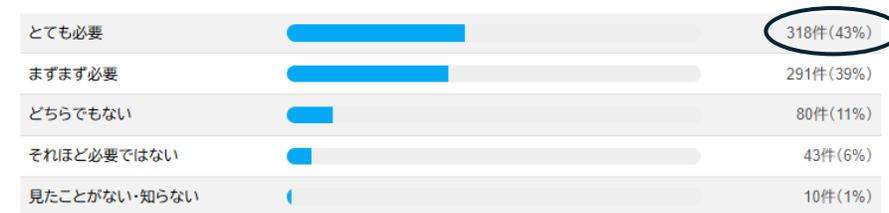
## ■ 目的・概要

- 「仕事・ボランティア情報」の目的  
会員CCの「働く」ためのプラットフォームとして機会を広げるとともに、CCの雇用環境を把握し、社会的地位の向上のために求人先に待遇改善等の働きかけを行う
- 「仕事・ボランティア情報」の概要
  - ・ 広報を希望する求人先から寄せられた情報を会員ページで定期的に公開するとともに、希望する会員に対してメールにて情報配信を行っている（情報の公開や配信は無料/情報を希望する会員は全会員の約7割）
  - ・ ボランティア情報は、兼業や副業が認められていない組織に就業している会員や「まずはボランティアから体験してみたい」という会員からの要望により追加

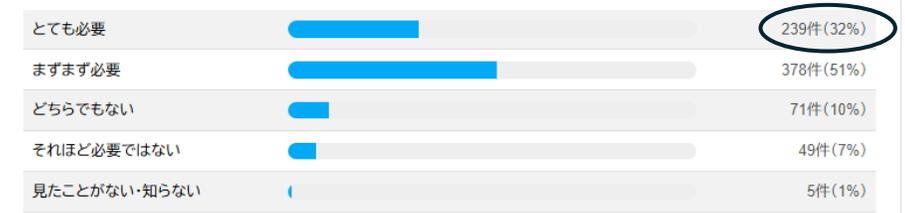
## 【サポート/市場づくり】 仕事・ボランティア情報

### ▼ 2024年度会員アンケートより「仕事・ボランティア情報」の必要度（比較：横は講座の案内等の「学習情報」の必要度）

3. ACCNが提供している情報に関してご自身にとっての必要度をお聞かせください(仕事・ボランティア情報(週1回 メール配信・会員マイページ)) 回答数 742件



3. ACCNが提供している情報に関してご自身にとっての必要度をお聞かせください(学習情報(月2回 メール配信/週1回 会員マイページ)) 回答数 742件



\*2024年度の求人件数実績は、155件（2023年度166件）

\*募集求人の雇用形態は、正社員6件(全件の3.8%)、有期雇用契約（パート・アルバイト含む）76件(同49.0%)、業務委託契約42件(同27.0%)、派遣契約27件(同18.0%)、ボランティア4件(同2.5%)

\*報酬としては、月額で270,000円前後、時給で1,300円～1,800円、といったところ。地方の求人は報酬が安い傾向にある。相場と比べて安い求人は、応募も少なくなるため、事前に求人先に情報を伝え報酬を上げてもらう働きかけを行っている

\*求人職名は「キャリアコンサルタント」として統一されているわけではなく、求人先により「キャリアカウンセラー」「キャリアサポーター」「キャリアアドバイザー」等まちまちの状況となっている。

## 1. 団体のご紹介

- ・ACCNの目的・設立経緯
- ・組織概要
- ・事業区分

## 2. 実践活動ができるCCを考える

- ・会員アンケートから
- ・実践機会の運営から
- ・実践活動ができるCCになるためには

## 3. 自律的実践活動への支援

【サポート/市場づくり】

- ・支部活動
- ・テーブル活動
- ・実践型訓練開発事業（ACCNインターンシップ）
- ・仕事・ボランティア情報

## 4. 自律的実践活動への支援

【品質保証/社会への働きかけ】

- ・「ACCNWAY」
- ・「キャリアマンス」

## 5. 終わりに

経済社会情勢の変化に呼応した活動に向けて



## 自律的 実践活動 への支援

### ■「ACCN\_Way 1.0」制定の目的

- ・キャリアコンサルタントとしてよりよく活動していくために、ACCNキャリアコンサルタントとしての矜持、あり方を示すこと
- ・ACCNキャリアコンサルタントについて、世の中の人々により良く知ってもらうということ

#### 私たちACCNキャリアコンサルタントは

すべての人は、働くことについて、また生きることについて、自ら考えて意思決定できる存在だと信じています。

そして、一人ひとりが、自身の仕事人生を大切にし、お互いの仕事人生を尊重しあえるような世の中を理想としています。その理想を実現するために、私たちACCNキャリアコンサルタントは個人や組織に働きかけていきます。

私たちACCNキャリアコンサルタントは「善い仕事」を大切にします。「善い仕事」とは、一人ひとりがその人らしく働き、生きていくという個の尊厳が守られる働き方を指します。

また、個人が所属する組織において、相互尊重しながら力を発揮することで社会的な役割を果たしていく仕事を指します。

これにあたり私たちACCNキャリアコンサルタントは、一人ひとりの人生にさまざまな形で関わっていることを自覚し、「善い仕事」をしていくために必要な専門性の充実、関係する専門家や団体との適切な関係の構築など、私たち自身の成長に絶え間なく取り組むことを誓います。



ACCN\_WAYサイト

- \*キャリアコンサルタントとして絶えず立ち返り、考え続けたい拠りどころとして、キャリアコンサルタント倫理綱領とセットで活用を想定
- \*倫理委員会にて検討した素案に対して、支部メンバーとの意見交換会や会員からのパブリックコメントを経て2024年12月に制定
- \*今後、会員への浸透と理解促進のために、ワークショップ等を行っていく予定

# 自律的 実践活動 への支援

## ■「キャリアマンス」 目的・概要

- すべてのキャリア支援職が所属団体・領域の垣根を越え、「自律的なキャリア」形成が当たり前となる社会の実現を目指して活動
- 毎年11月を「キャリアマンス（キャリア月間）」とし、賛同いただける団体や個人の方に全国でキャリアを考えるさまざまなイベントや取組みを集中的に開催、情報発信していただくよう働きかけている
- ACCNも事務局としてポータルサイトを開設し「一般の方向けのキャリア関連イベント」、「キャリア支援職向けのイベント」の情報を集め広報を行うとともに、コラム発信や開催のまとめとして記念イベントを行っている

## 【品質保証/社会への働きかけ】 社会から信用されるブランド作り その2「キャリアマンス」



キャリアマンス  
2024サイト

\* 記念イベント  
のアーカイブも  
公開中



キャリアマンス 2024

ホーム    どなたでも参加できるイベント    キャリア支援者の学び検索    参加者の声

今年のテーマは  
「働くと生きるを考える」  
自分って何者？キャリアって何？  
考え、試行錯誤して見えてきたものが  
あなただけの羅針盤になる

WEB労政時報 コラム  
キャリアマンス2024に寄せて  
第1回 >  
第2回 >

キャリアマンス記念イベント

働くと生きる、多様な働き方を知る  
～今とこれから～

12.14sat  
10:00-12:00 @Zoom

参加無料

副業・兼業の現状とは？「短時間労働」「副業」「プロボノ」とは？  
多様な働き方を知り、キャリアの多様性を考える

【後援】厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

川上 淳之 氏   横井 聡 氏   藤井 里江 氏   津田 詩織 氏  
東洋大学経済学部教授 経済学博士   シェアフル株式会社 代表取締役   サンカク株式会社リクルート プロダクト統括本部 HRエージェントプロダクトマネジメント   認定NPO法人 サービスブランド

詳細はこちら

2024年11月12日掲載

キャリアマンス2024に寄せて - 第1回 自律的なキャリア形成が当たり前となる社会へのムーブメント

2023年11月10日掲載

キャリアマンス2023に寄せて - 第1回 従業員の「働くと生きる」を支える仕組みづくり～三菱電機におけるキャリアコンサルティング室立ち上げ奮闘記～

\*「WEB労政時報」にてキャリアマンスに関するコラムの発信

1. はじめに  
11月を冠え「キャリアマンス」の理念を固め、今年、「自律的なキャリア形成」が当たり前となる社会の実現を目指して、という実感が目に見え込んできた。改めて考えると、ここ数年で強いムーブメントが起こっているように感じる。  
私は2020年ごろから毎年のキャリア関連イベントを立ち上げ、現在ではオンライン上で毎月開催している。さまざまな企業や団体から参加していただき、私の経験から、「働く生き」へ向かっている自律的なキャリア形成をめぐる集約のムーブメントを取り上げてみようと思う。

2. 個人のムーブメント  
一つ目は、人材関係の社会インフラが整い、転職が一般的になったという個人のムーブメント

1. はじめに  
「働く生き」に関する書籍を多く読んでおられます。第二回となる今回は、三菱電機において「キャリアコンサルティング」を立ち上げるにあたっての経験や課題等を中心に、従業員「働く生き」を支える仕組みづくりをお話します。

1. はじめに  
当社は、企業内キャリアコンサルティングで有名な建設事業を営み続けておられ、ようやく取り戻されたばかりで、現在建設業界のこれだけ行状を振り返りながら活動中である。私は人事総務部門の経験が長い。「自律的なキャリア形成」に関しては2022年ごろから人事関係のセミナーに出席し、社内外のさまざまな方のキャリアアドバイスをもらいながら、当社内におけるキャリアコンサルティング室の立ち上げ、従業員とのキャリア相談業務に携わり、現在に至っています。

- \*2024年は43団体からの協賛をいただき、期間中に256件（うち一般向け11件）のイベントの情報を発信
- \*記念イベントは、「働くと生きる、多様な働き方を知る～今とこれから」というテーマで、スポットワーク、副業支援、プロボノ、といった業態の方々から兼業や副業の実際についてお話を伺い、参加者から好評をいただいた（申し込み数351、参加数181）

## 1. 団体のご紹介

- ・ACCNの目的・設立経緯
- ・組織概要
- ・事業区分

## 2. 実践活動ができるCCを考える

- ・会員アンケートから
- ・実践機会の運営から
- ・実践活動ができるCCになるためには

## 3. 自律的実践活動への支援

【サポート/市場づくり】

- ・支部活動
- ・テーブル活動
- ・実践型訓練開発事業（ACCNインターンシップ）
- ・仕事・ボランティア情報

## 4. 自律的実践活動への支援

【品質保証/社会への働きかけ】

- ・「ACCNWAY」
- ・「キャリアマンス」

## 5. 終わりに

経済社会情勢の変化に呼応した活動に向けて



## 終わりに

2018年に設立したACCN（オールキャリアコンサルタントネットワーク）は、実践現場の方からの声や会員の方のニーズにその都度向き合い施策を考えながら現在に至っています。職能団体としてまだまだ道半ばですが、「ACCNに込められた思い」の実現に向けて活動の深化に取り組んでいきたいと思ひます。

経済社会情勢の変化に  
呼応した活動に向けて

**全ての人々が自らキャリアを考え生きる社会を作る**

– All people

**生涯にわたるキャリア発達を支援する**

– Career development support

**キャリアコンサルタント自身がキャリア成熟・成長する**

– Career maturity, change agent

**全てのキャリアコンサルタントがつながり、社会ともつながるネットワークを作る**

– Networking